

日本の少子化と外国人労働者の導入

担当 猪俣・木村

<目次>

- 1.背景・目的
- 2.日本少子高齢化
- 3.技能実習生の推移
- 4.技能実習制度
- 5.問題点
- 6.韓国の雇用許可制
- 7.日韓の比較・分析
- 8.提案
- 9.参考文献

<背景・目的>

日本では少子化により労働力供給の減少や年金などの社会保障費の負担が増大している。しかし、技能実習制度は問題点が多く改善する必要がある。そこで韓国の外国人労働者の受け入れ制度を参考にできないだろうか。

<内容>

- ・日本の少子高齢化の現状
- ・技能実習生の推移
- ・技能自習制度の問題点
- ・日本の技能実習制度と韓国の雇用許可制の比較
- ・提案

<提案>

- 1.日本は韓国のように政府主導にするべき

政府が管理することで悪質なブローカーや高額な送り出し費用などの問題を無くすことができる。

- 2.日本は韓国のように転職の回数を増やすべき

転職の機会を持たせることで、離職者や失踪者などを減らせることができる。